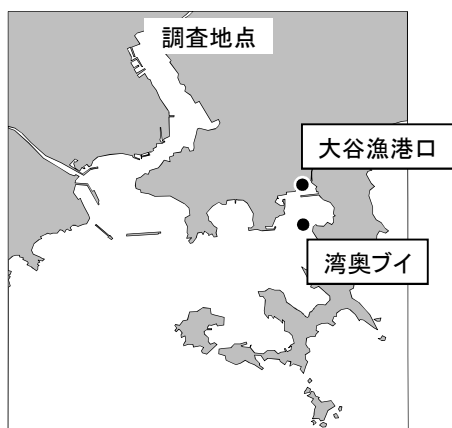


プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、野見湾のプランクトン調査を実施しましたので結果をお知らせします。
 検鏡の結果、魚類に対して非常に有害なコクロディニウム・ポリクリコイデスが最高8cells/ml、
 シュードシャットネラ・ベルクローサが最高2cells/ml確認されました。今後の動向に注意が必要です。
 その他、有害種のアカシオ、ディクチオカ属、ミリオネクタ・ルブラも確認されています。
 海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、中央漁業指導所か水産試験場まで連絡してください。

地点	水深	コクロディニウム・ポリクリコイデス	シュードシャットネラ・ベルクローサ	アカシオ	ディクチオカ属	ミリオネクタ・ルブラ
大谷漁港口	0m	4	0	2	1	30
	2m	0	0	0	2	24
	5m	2	0	0	18	0
	8m	0	0	0	9	1
湾奥ブイ	0m	2	2	0	0	20
	2m	8	1	0	2	4
	5m	0	0	0	17	2
	8m	0	1	0	18	1

(cells/ml)



漁業被害が想定される細胞密度

- ・コクロディニウム・ポリクリコイデス
数百～1,000cells/ml(魚類のへい死)
- ・シュードシャットネラ・ベルクローサ
500～1,000cells/ml(魚類のへい死)
- ・アカシオ
10,000～50,000cells/ml(魚類のへい死)
- ・ディクチオカ属:
5,000cells/ml(魚類のへい死)
- ・ミリオネクタ・ルブラ
10cells/ml(貝類の赤変化)